



令和8年度よつば小学校の学校運営について

学校の教育目標

自ら学び、心豊かにたくましく生きる子どもの育成
—これからの社会を生き抜く力を育む—

目指す子どもの姿

【かしこく】

- よく聴きよく見てよく考える子
- 正しく判断し、行動する子
- 目当てをもち、自ら学ぶ子

【やさしく】

- さわやかに挨拶する子
- 相手の気持ちを考えて行動する子
- 互いのよさや違いを認め、助け合う子

【たくましく】

- 心と体の健康に気を付ける子
- ねばり強く努力する子
- 安全に気を付けて、自他の命を大切にする子

学校では、「目指す子どもの姿」に向けて一人一人ががんばることができるよう、教職員が力を合わせ、家庭や地域と連携を図りながら学校の教育活動を推進していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



新年度、1か月を過ごして ～疲れは出てきていませんか～

令和8年度がスタートし約1か月がたちました。進級、入学した喜びでわくわくした気持ちいっぱいの雰囲気の中、子どもたちは学校生活を過ごしています。

一方で、緊張感をもって過ごし、がんばった疲れが出てきている子がいるかもしれません。疲れたときに「疲れた」と言えることやしんどい時に心や体を休めることはとても大切です。もしもお子さんが不安な気持ちを伝えた際には、気持ちを受け止め、お家の方からの励ましや笑顔での言葉かけをお願いします。家庭が心のエネルギーを満タンにできる場となるよう願っています。



地域の温かさに見守られて ～朝の子どもたちの姿から～

朝、校門で子どもたちを迎えていると、「おはようございます」と元気に挨拶をする子、丁寧に辞儀をしながら挨拶をする子が多く見られます。挨拶は、充実感や安心感の中で時間をかけて身に付いていく行動だと考えています。これまでの学校生活でのがんばりや家庭生活での安心が、よつばっ子のすてきな挨拶という行動に表れていると感じています。

また、毎朝、子どもたちを笑顔で迎え、一人一人の名前を呼びながら挨拶をしてくださっている見守り隊の皆様の温かさに見守られていることも大きな支えになっています。

このことは、まさによつば小学校が目指す「学校・家庭・地域の温かなつながりの中で子どもを育てる」の具体的な姿だと感じています。



【家庭】

安心・愛情・自己肯定感の拠点

【学校】

社会性・協働意識・挑戦の場

【地域】

実社会・ふるさと意識の醸成
見守られている安心感